

伊藤ひろし



第22号

「交通安全対策」「特別職の退職金」

私は、平成22年度第2回定例議会で市長に6項目、教育長に2項目の計8項目について質問をしました。今議会報では、質問した2項目の「交通安全対策」「特別職の退職金」について、市長の考え方と今後の取り組みを御報告させていただきます。

「交通安全都市宣言」にふさわしいまちづくり

平成17年、愛知県美和町（現在あま市）で、2年生の男の子が公園出入り口から飛び出し、車と衝突して死亡するという事故が起きました。遺族が、管理者の町と運転手に損害賠償を求めた訴訟で、町の自治体側の管理責任も認めるという判決が下されました。閉廷後の男児の母は、「公園などの管理を見直すきっかけになれば」と話されています。

私は、他の自治体での行政に係わる裁判事例を、習志野市でも教訓として謙虚に活かす市政運営をすべきと考えます。

習志野市は、昭和37年3月に交通安全都市宣言を掲げ、県下でも3番目の速さで交通事故を防ぐ、安全なまちづくりを基本理念としています。

習志野の市民や子どもたちが、交通事故に合わないよう配慮したまちづくりは、市役所の重要な仕事と考えます。

議会では、市長に対して、車道や歩道に隣接している公園・公共施設駐車場の出入り口周辺や交差点付近の歩道周辺を、運転手から良好な視界確保ができるように、植栽・看板の配置・高さ基準の統一化を図り、改善に取り組むべきと主張しました。

議会質問と答弁（要旨）

●習志野市内の交通事故の状況 （平成21年度）

伊藤 庁内で交通事故に配慮した統一基準がない。「バラバラ、あいまいな」所管課ごとの管理ではなく、庁内統一方針・基準ルールづくりを策定し、それに沿った再点検実施が望ましいと考えるが

発生件数 **596件**死者 **4名**負傷者 **677名**

市長 ご指摘を受けたので、統一基準をつくり、改めて再点検をする。

「次世代に責任を持つ自主自立の都市」にふさわしいまちづくり

「特別職の退職金」について、どのように考えているのか

現在、習志野市役所で、退職金を支給する特別職は、市長、副市長、教育長、企業管理者の4名が該当します。支給額の計算方法については、条例で決まっております、廃止・減額の実施は、議会で過半数の承認を必要としますが、市長から議会への提案は、自由にできるようになっています。

最近では、宮崎県知事、名古屋・千葉市長が50%の削減、宮城県は、知事・副知事が廃止、群馬県太田市（人口21万人）では、市長・副市長・教育長が現任期のみ廃止となりました。

また、小さな自治体である山形県遊佐町（人口1万6千人）でも、市長の現任期のみ廃止となりました。6月には、千葉県初、柏市（人口40万人）でも現任期のみ、市長の退職金（2062万円）を廃止することとなり、自治体の大小に係わらず、全国で退職金を辞退し、税金を行政サービス、財政運営に転化する動きがあります。

そこで、習志野市長に、「特別職の退職金」についてどのように考えているのか質問しました。市長の考え方は、近隣市や千葉県市長村総合事務組合（財政規模の小さい自治体が加盟、習志野市は該当しない）の動向を見ながら検討するとのことでした。

議会で、市長に考え方を再質問しましたが、残念ながら、総務部長が代弁するという「退職金の考え方」については、非常に歯切れの悪さを感じました。

議会質問と答弁（要旨）

伊藤 廃止を提案した知事や市長・町長に対する見解は

総務部長 自治体の首長、それぞれの考えがあるのでは

伊藤 なぜ、近隣市などの動向に合わせる必要性があるのか

総務部長 過去の経緯から、近隣市との均衡を図っている

全国で退職金を廃止している自治体は、もちろん近隣市との均衡・動向などを考慮に入れず、市長独自の考え方で実施しています。

なぜ習志野市は、過去の経緯や近隣市との均衡を保とうとしているのか理解できません。全国の首長、千葉市、柏市の市長が、習志野市の考え方を聞いたら、私と同様に理解に苦しむのではないかと思います。

近隣市の市長の退職金支給額(1期4年在職・単位円)					
習志野市	八千代市	佐倉市	鎌ヶ谷市	千葉市	柏市
2052万	1646万	1597万	1512万	1650万	0

○ 市政に対するご意見、税金の無駄遣いと感じるものについては、私にお寄せください。

〒275-0021 習志野市袖ヶ浦2-4-1-201

メール：hiroshi-ito@hiroshi-ito.com 電話・FAX 047-454-8358